

特色ある推進事業とは、豊田市の小・中学校が地域性や児童生徒の実態や願いを生かし、活力のある地域の誇れる学校となるよう、地域の文化や芸術に関わる活動、交流や勤労生産に関わる活動、各教科等の基礎基本の定着や発展学習の充実を図る活動、豊かな心やたくましい身体の育成を図る活動等の特色のある教育活動を支援するものとなります。

本校の特色ある推進事業計画を以下に記載します。

【テーマ】 われら拳母っ子ー地域に学び、考え、動く子ー

【学校づくりの視点（ねらい）】

- ①校外学習で、町探検、公園探検、拳母祭りやおいでん祭り等の調べ学習に出かけ、地域の様子や歴史について学ぶことで、地域愛を育てる。
- ②交流館行事、地域の活動に参加をし、地域の一員として貢献するよさを実感する。
- ③地域講師を指導者とし、総合学習で拳母祭りのお囃子に取り組む。また、学校公開日で地域や保護者の方に披露する。
- ④理科や生活科、総合的な学習の時間や休み時間等に、ビオトープでの活動を通して、身近な自然と接し、生息する生き物や植物を大切にする気持ちを高め、ビオトープを全校で大切に維持していく。

【実績・期待される効果】

- ①町探検、公園探検、拳母祭りやおいでん祭り等の調べ学習では、実際に足を運び、目で見たり、地域の方に話を聞いたりする体験学習をすることで、子どもたち自身がたくさんの発見をすることができる。また、地域を見学する中で、公共マナーを考えたり、道徳性を身に付けたりすることができる。
- ②体験したことを地域の方や保護者に発表する場や作成した作品を掲示する場を設けることで、子どもたちのやる気を向上させ、さらに学んだことを他学年や地域に発信することで、発表する側、聞く側どちらにも地域のことを知る機会を作ることができる。
- ③ビオトープでの活動は、都市部に立地する本校の子どもたちが、自然に触れ合う機会を作り、自然愛護の意識を育てたり、さまざまな体験学習ができたりする貴重な場となっている。（実際に、ザリガニやトカゲ、どんぐり等、四季さまざまな生き物や自然に触れている。）

【検証方法】

- ・子どもたちの活動のまとめや発表から学習課題に対する達成の状況を把握する。
- ・各学年で取り組んだことへの振り返りを行い、次年度へ引き継いでいく。
- ・保護者には、学校評価アンケートによって、子どもたちの様子について成果が見られたか確認する。
- ・学校運営協議会での活動の取組についてご意見をいただく。

5月のビオトープの活動の様子



ビオトープを流れる水は矢作川からきています。今は水が流れていませんが、梅雨のころには、水が流れ、さまざまな生き物（ドジョウやザリガニなど）の観察ができます。秋にはどんぐりを拾うこともできます。都会の中で、生き物や植物に触れる貴重な機会となっています。

特色ある推進事業費は、年間を通して2回、ビオトープの整備費用に充てています。

